



調査経緯・数量等一覧

(青森県・岩手県)

区 分 項 目	東 側(面積約16㌔)					西 側(面積約11㌔)				合 計	
	H11	H12	H13	H14(予定)	小 計	H12	H13	H14(予定)	小 計		
モニタリング	1回 (河川等3箇所)	3回 (河川等4箇所)	3回 (河川等4箇所)	3回 (河川等4箇所)	10回 (河川等4箇所)	4~5回 (湧水等4箇所)	4回 (湧水等5箇所)	4回 (湧水等5箇所)	13回 (湧水等5箇所)	23回 (河川等9箇所)	
" (排水・場内水)	-	-	-	-	-	1~2回 (4箇所)	4回 (4箇所)	4回 (4箇所)	10回 (4箇所)	10回 (場内4箇所)	
" (場内地下水)	-	1回 (11箇所)	1回 (11箇所)	3回 (11箇所)	5回 (11箇所)	2回 (2箇所)	4回 (2箇所)	4回 (2箇所)	10回 (2箇所)	15回 (場内13箇所)	
表層土壌ガス調査 (表層ガス概況調査)	-	高感度:151箇所 中感度:81箇所	-	-	高感度:151箇所 中感度:81箇所	中感度:60箇所	-	-	中感度:60箇所	高感度:151箇所 中感度:141箇所	
廃棄物・土壌分析試験	-	-	23検体	27検体	50検体	23検体	41検体	3検体	67検体	117検体	
地下水水質分析調査	-	-	-	-	-	4検体	7検体	-	11検体	11検体	
試掘調査	-	8地点	-	-	8地点	-	-	-	-	8地点	
トレンチ調査	-	-	16㌔(全域)	-	16㌔(全域)	-	-	-	-	16㌔(全域)	
文献調査	-	-	-	地質、気象観測資料等	地質、気象観測資料等	地形・地質、気象等の概況	-	-	地形・地質、気象等の概況	(1式)	
気象観測	-	-	-	2地点3ヶ月 図化1.4km2 (平面図) (S=1:1000)	2地点3ヶ月 図化1.4km2 (平面図) (S=1:1000)	-	-	-	-	2地点3ヶ月	
測量調査	-	-	-	2地点3ヶ月 図化1.4km2 (平面図) (S=1:1000)	2地点3ヶ月 図化1.4km2 (平面図) (S=1:1000)	0.13km2(平板) (S=1:500)	0.60km2(平板) (S=1:500)	1.64km(断面) (S=1:100)	0.73km2(平板) 1.64km(断面)	2.13km2(平板) 1.64km(断面)	
現地踏査	-	0.16 km2	-	-	0.16 km2	4km2	-	-	4 km2	4.16 km2	
高密度電気探査 (比抵抗法二次元探査)	-	-	-	5測線(2,000m)	5測線(2,000m)	-	9測線(2,970m)	-	9測線(2,970m)	14測線(4,970m)	
弾性波探査	-	-	-	-	-	-	2側線(550m)	-	2側線(550m)	2側線(550m)	
ボーリング調査	-	11本(182m)	-	35本(534m)	46本(716m)	9本(209m)	20本(623m)	12本(252m)	41本(1,084m)	87本(1,800m)	
標準貫入試験	-	-	-	-	-	8箇所	3箇所	-	11箇所	11箇所	
地下水流向流速調査	-	-	9箇所	9箇所	18箇所	-	8箇所	-	8箇所	26箇所	
地下水イオン分析	-	-	-	17回	17回	-	-	-	-	17回	
揚水試験	-	-	-	12回	12回	-	-	-	-	12回	
現場透水試験	-	-	-	12回	12回	8回	7回	-	15回	27回	
ルジオンテスト	-	-	-	-	-	-	49回	24回	73回	73回	
湧水圧試験	-	-	-	7回	7回	-	-	-	-	7回	
土質(室内)試験	-	-	-	8箇所(24試料)	8箇所(24試料)	-	3箇所(9試料)	12箇所(12試料)	15箇所(21試料)	23箇所(45試料)	
岩石(室内)試験	-	-	-	-	-	-	7箇所(16試料)	12箇所(24試料)	19箇所(40試料)	19箇所(40試料)	
参 考	汚染拡散予測(シミュレーション)	-	-	-	14ケース	14ケース	-	-	-	14ケース	
	汚染拡散防止策概略検討	-	-	-	汚染拡散防止策方針 決定のための検討	(1式)	-	-	-	(1式)	
	原状回復技術検討	-	-	-	-	-	適用可能技術とその 方法の比較検討	-	(1式)	(1式)	
	地質総合解析	-	廃棄物を含む 地盤構成の想定	-	汚染拡散防止策の検討に 向けた調査データ分析	(1式)	事業場内外の汚 染状況検討	事業場周辺の水理 地質構造の検討	遮水ライン沿いの 地質・透水性検討	(1式)	(1式)
	原状回復基本計画	-	-	-	-	-	-	-	汚染拡散防止対策 の基本計画	(1式)	(1式)
	-	-	-	-	-	-	-	汚染拡散防止対策 の基本設計	(1式)	(1式)	

東側エリアにおける本年度調査概要について

(1) 契約関係

- 1) 入 札：平成 14 年 9 月 20 日(金)
- 2) 指名業者：12 社（全社出席）
- 3) 落札業者：日本物理探鑛株式会社
（本社：東京、設立：1942 年、資本金：6 千万円、従業員数：132 名）
- 4) 落 札 額：7 1 , 9 2 5 , 0 0 0 円（消費税相当額含む）
- 5) 契約期間：平成 14 年 10 月 1 日(火)～平成 15 年 3 月 20 日(木)

(2) 調査位置等

別添図参照

(3) 調査内容

1) 地形測量

既存の航空測量による資料やデータの活用により、縮尺千分の一の平面図及びオルソ図（写真図）を作成する。

2) 地質等調査

機械ボーリング及びボーリング孔を利用した各種原位置試験等を実施することにより、廃棄物の汚染レベル毎の量を算定するとともに、地盤を構成する土質・土層の性状を把握する。

機械ボーリングによる廃棄物を含めた地盤のコア採取（35 箇所）

観測井の設置（4 箇所）

ボーリング孔を利用した現場透水試験（12 回）、簡易揚水試験（12 回）、地下水流向流速測定（9 箇所）、湧水圧試験（7 回）の実施

比抵抗法二次元探査（5 測線 2,000m）による廃棄物層、岩盤層の形成状況把握

土質試験（密度、含水比、粒度）の実施（8 箇所 24 試料）

3) 環境調査

粉塵や地下水による汚染拡散シミュレーションを行うため、気象観測（3 ヶ月間）を行うとともに、既存データの収集を図るほか、別途モニタリングを実施する。

気象観測（内容：風向・風速、温度、湿度、気圧、雨量）

気象観測既存データ収集（範囲：過去数年分）

モニタリング（監視項目：水温、水位、pH、電気伝導度）

4) 土壌・水質分析調査

環境基準に照らした評価を行うとともに、汚染土壌の適正処理を行うため、重金属、農薬類、揮発性有機化合物、ダイオキシン類、灰分、発熱量、イオン分析等の分析試験等（27 検体）を実施する。

5) 汚染拡散予測（シミュレーション）

2)～4)の調査・分析結果を踏まえ、汚染物質の大気中（粉塵）及び地中（地下水）における拡散状況を予測するための条件設定を行い、14 ケースでシミュレーションを実施する。

6) 汚染拡散防止策等の検討

シミュレーション等を踏まえ、現場における遮水壁の必要性、汚染土壌等の撤去に際して想定される汚染拡散防止対策等について概略検討を行う。

(3) 主な調査スケジュール

1) 12 月中旬まで

現地作業を終了し、ボーリングや原位置試験等の調査結果概要を作成。

2) H15. 3 月まで

現地作業終了後、汚染拡散シミュレーションの結果を踏まえ、汚染拡大防止策等を検討し、報告書を作成。

(4) 技術部会（合同検討委員会）への報告等

調査の節目と技術部会等の開催予定を勘案し、適宜、状況報告を行うほか、検討事項として技術部会等に諮り、意見・提言等をいただく。

ボーリング調査・原位置試験等に関する調査数量内訳表

No.	ボーリングNo.	地区名	標高	オールコア	ボーリング調査内容内訳表					掘進深度 (計画) (m)	基盤確認	原位置試験			室内試験		水質分析			モニタリング	備考			
					掘削区分							現場透水試験 及び 揚水試験	地下水流向流速	湧水圧試験	土質試験	公定法	現地簡易分析	公定法	イオン分析					
					86mm(m)		66mm(m)																	
					粘性土	砂質土	粘性土	砂質土	礫質土	軟岩														
1	A1	A	475				19	1		5	25				3	1		1						
2	A2	A	475				19	1			20					1								
3	A3	A	475				19	1			20					1								
4	A4	A	475				19	1			20					1								
5	A5	A	475				19	1			20					1								
6	B1	B	460				12	3			20				3	1								
7	B2	B	460				12	3			15					1								
8	B3	B	460				12	3			15					1								
9	B4	B	455				7	3			10					1								
10	B5	B	450				7	3			10					1								
11	B6	B	445				7	3			10					1								
12	B7	B	460				12	3			15					1								
13	D1	D	445				10	2			12					1								
14	D2	D	445				10	2		5	17				3	1		1						
15	D3	D	445				10	2			12					1								
16	E1	E	445				10	2			12					1		1						
17	F1	F	460				13	2			15				3									
18	J2	J	450				18	1	1	5	25				3									
19	K2	K	445				10	2		5	17				3									
20	M1	M	450				13	3			16					1								
21	M2	M	450				13	3			16					1		1						
22	M3	M	450				13	3		5	21				3	1		1						
23	M4	M	450			13	3				16					1								
24	N1	N	450				13	3			16				3									
25	W-4	J	425				10				10					1		1						
26	W-5	O	440				18				18					1		1						
27	W-6	青森	440				15				15					1		1						
28	T-1	H	440				15				15					1								
29	T-2	G	460				14	1			15					1								
30	T-3	J	455				9	1			10					1								
31	T-4	O	445				10				10					1								
32	T-5	O	445				10	1		5	16					1								
33	T-6	M	445				10				10					1								
34	T-7	D	450				9	1			10					1								
35	T-8	A	455				9	1			10					1								
36	No.1	B																						
37	No.2	B																						
38	No.3	F																						
39	No.4	G																						
40	No.5	K																						
41	No.6	J																						
42	No.7																							
43	No.8																							
44	W-1の沢																	1						
45	W-1																	1						
46	W-2																	1						
47	W-3																	1						
計	Bo孔:35孔						56	3	383	56	1	35	534	7		12	9	7	24	27	12	11	17	9

他の調査内容	
比抵抗法二次元探査:5測線(l=2,000m)	
気象観測(風向風速、音頭、湿度、気圧、雨量)及び既往資料収集:一式	
汚染拡散予測(シミュレーション:大気・地下水)	
汚染拡散防止策の概略検討	